



2

大会を契機とした

新潟の魅力の充実

大会をきっかけに、国際交流の環を広げるともに、より広くスポーツや文化の振興を図り、また、観光面での整備を進めるなど、国際都市新潟の魅力充実させていきます。

スポーツの普及・振興
市民サッカー大会、国際ユースサッカーの開催
中学校にサッカー指導者の派遣など

国際交流の推進
国際理解講座、見本市、物産展の開催など



韓国フェスティバル

観光推進体制の強化
観光スポットの整備、土産品コンクールの開催など

新潟の特色を活かした文化の振興
新潟の歴史・風土に根ざした神楽・太鼓・民謡・演劇・コンサートの開催など

サッカー豆知識

サッカーボールは、六角形と五角形でできていますが、いつから今の形になったのでしょうか？
サッカーボールは以前、バスケットボールやバレーボールのような縫い合わせでした。それが、1965年に日本の「モルテン」社が五角形の黒い面（12面）と六角形の白い面（20面）の合計32面体というサッカーボールをデザインしたのが始まりです。

2002年のワールドカップサッカー大会が近づくにつれ、国の内外から多くのサッカーファンや観光客が新潟市を訪れることでしょう。

大会をきっかけに、新潟の魅力の世界の人々に知ってほしい。そして、ひとりでも多くの人に「また新潟に来たいな」と感じてほしい……。

シュート 集都プラン

新潟は人情のまち。皆さんの『もてなしの心』で、日本中、いえ世界中から訪れるお客さんを歓迎しましょう。もちろん、参加する皆さんの心にも、素晴らしい思い出が残るように。

ここでは、市で策定した「国際都市にいがた集都（シュート）プラン」の内容をご紹介します。



新潟出身の漫画家の作品でまちを彩るマンガストリート

大会期間中に、新潟をどりや工芸品などの伝統文化を紹介したり、新潟の特色を生かしたさまざまなイベントを開催します。大会を盛り上げると同時に、自然や文化などの新潟市の魅力を世界に発信します。

新潟の心で世界を歓迎
ボランティアや市民活動の支援、インターネットを活用した出場国の応援、フランス・ナント市の協力による「ナント美術館所蔵品展」の開催など

ナント市は新潟市の交流協定締結都市で、前回のW杯フランス大会開催地の一つです。

1

新潟の魅力を世界に発信

新潟の水と緑と夕日を世界に発信
にいがた水都フェスタ～新潟をどり・能などの上演、大型テレビジョンでの試合放映、市を紹介した観光ビデオの作製など



茶会・邦楽などでおもてなし

3 大会に向けての基盤整備

大会会場となる新潟スタジアム（ビッグスワン）へのアクセスをスムーズに。関連する道路も整備して、訪れる方々を歓迎します。



整備が進む弁天線

鳥屋野潟公園、万代橋下流橋、新潟みなとトンネルなどの整備



市の花チューリップで街中を装飾

大会日程決定!!

2002年6月1日 日本は新潟からキックオフ!
新潟スタジアム『ビッグスワン』での試合日程

試合日	開始時間	備考
6月1日(土)	15:30	日本開幕戦(1次リーグ)
6月3日(月)	15:30	1次リーグ
6月15日(土)	20:30	決勝トーナメント1回戦

サッカー豆知識

野球などはファンと呼ぶのに、なぜサッカーはサポーターなの？
サッカーのファンは、選手を勇気づけるように大声を出し、選手と一緒に試合を戦います。つまり、選手をスタンドからサポートする意味から「サポーター」と呼ばれるようになりました。サポーターは、スタンドにいる12番目の選手なのです。